

第3章 基本政策③ やすらぎと利便性が共存するまち【都市整備】

第4節 道路

施策1 道路交通網の整備

基本計画
掲載頁

98～99

| | | | | |
|-------------|----|---|-------------------|---|
| 施策の 達成状況 | B | A：順調に推移した B：おおむね順調に推移した C：進捗が遅れた | 成果 | 歩行者の安全性や快適性に配慮し、道路の幅幅や歩道の確保を新座市道路整備基本計画に基づいて計画的に進め、安全な道路環境づくりに取り組んだ。 |
| | | | 課題 | 道路の無電柱化や自転車通行空間の整備については、調査・研究の結果を踏まえ、検討を進めていく必要がある。 |
| 今後の 方向性 | II | I：現状のまま継続 II：一部見直し等の余地がある III：抜本的な見直し等が必要 | 成果・課題を踏まえた今後の取組方針 | 道路環境の改善・整備を進めつつ、都市計画道路保谷朝霞線、放射7号線、東村山足立線の幹線道路の整備について、埼玉県と連携を図っていく。 また、東久留米志木線の整備に向け、令和6年度から基本設計などを進めていく。 |

【参考】施策領域ごとのKPI※1（重要業績評価指標）

| 項目 | 現状値 (策定時点) | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 目標値 | 令和5年度時点 達成度※2 | 所管課 |
|------------------|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------------------|-------|
| 都市計画道路整備率 | 16% | 16% | | | | | 90% | B | 道路管理課 |
| 市道舗装修繕計画による市道修繕率 | 0% | 23.2% | | | | | 100% | B | 道路河川課 |
| 橋梁長寿命化修繕計画による修繕率 | 0% | 8% | | | | | 100% | B | 道路河川課 |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

※1 KPIは「施策」ではなく「施策領域」ごとに設定しているものです。

※2 【達成状況評価について】 A：目標を上回るペースの指標値 B：目標値を達成するペースの指標値 C：やや遅れ気味

主な施策展開の進捗状況

| (1) 道路環境の改善・整備 | 施策の進捗状況 | 評価の説明 | 所管部 | 所管課 |
|--|------------|--|----------|-------|
| ○ 交通手段にかかわらず、誰もが安全で快適に使用できる道路整備を推進します。また、安全、防災、景観において効果の高い無電柱化の検討や街路樹の整備を進めます。 | C（やや遅れている） | 無電柱化の推進について、安全で円滑な交通の確保、都市景観の向上を図るため、先進事例の情報収集をしながら、調査研究を行った。 | インフラ整備部 | 道路管理課 |
| ○ 歩行者の安全性や快適性に配慮し、道路の拡幅や歩道の確保を計画的に進め、安全な道路環境づくりに取り組みます。また、市民の利用状況に合わせ、自転車通行空間の整備をするなど、自転車や車いす、新たなモビリティ（交通手段）等の利用にも配慮した整備に努めます。 | C（やや遅れている） | 市道第5号線（水道道路）、市道第8号線（水道道路）及び市道第111号線（こもれび通り）について、歩道用地を取得した。また、自転車通行空間の整備等については、先進事例に関する情報収集等を行った。 | インフラ整備部 | 道路管理課 |
| (2) 幹線道路の整備 | 施策の進捗状況 | 評価の説明 | 所管部 | 所管課 |
| ○ 都市計画道路保谷秋津線、ひばりヶ丘片山線については関係機関と調整しながら整備を推進するとともに、東久留米志木線については整備を進めます。 | B（おおむね順調） | 保谷秋津線については、令和5年度末の用地取得率は令和5年度末までで約6.5%。現在の事業計画では事業期間は令和7年度までとなっているが、7か年延伸予定。ひばりが丘片山線及び東久留米志木線については令和7年度の事業認可取得を目指していく。 | インフラ整備部 | 道路管理課 |
| | B（おおむね順調） | 事業を進めるに当たり、基本設計に係る予算計上を行うなどの準備を進めた。 | インフラ整備部 | 道路河川課 |
| ○ 都市計画道路保谷朝霞線、放射7号線、東村山足立線などの早期整備について、県に要請・協力します。 | B（おおむね順調） | 都市計画道路保谷朝霞線、放射7号線、東村山足立線の早期整備について、県に要請・協力した。 | インフラ整備部 | 道路管理課 |
| ○ 関越自動車道へのスマートインターチェンジの設置に向け、調査検討を進めます。 | C（やや遅れている） | 直接の接続先となる都市計画道路保谷朝霞線（県事業）の主要構造や整備時期等が未定のため、詳細な検討に入れなかったが、国土交通省大宮国道事務所と意見交換を行った。 | まちづくり未来部 | 都市計画課 |
| ○ 国道254号の慢性的な混雑の解消に向けて、国道254号和光富士見バイパスの早期整備について、関係機関に要望します。 | B（おおむね順調） | 国道254号の慢性的な混雑の解消に向けて、国道254号和光富士見バイパスの早期整備について、関係機関に要望した。 | インフラ整備部 | 道路管理課 |